

データ作成時の注意点

①使用アプリケーションについて

Adobe 社の Illustrator および Photoshop を使用してください。

②必ず配付したテンプレートファイルを使用して作成してください。

※既存のレイヤーは削除しないでください。

※レイヤーは増やしてかまいませんが、既存のレイヤーと区別がつくよう、分かりやすい名称をつけてください。

③色について

配置してある画像も含めてカラーモードは全て CMYK で作成してください。

※RGB で作成した場合、印刷時に色が大きく変わってしまうおそれがあります。

④サイズについて

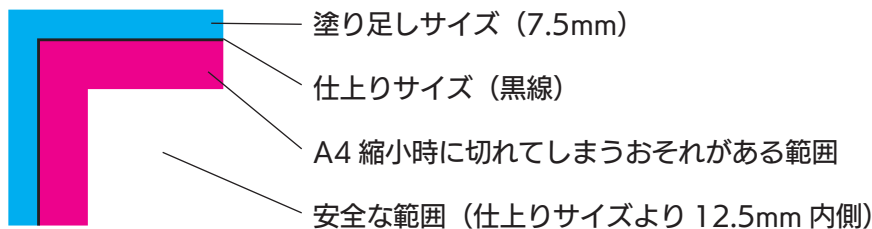
B2 サイズ (W515×H728mm) で作成してください。

※紙の端まで色や画像をのせる場合は必ず■の範囲まで塗り足しを作成してください。

※完成した際に切れてはいけない文字・画像・模様などがある場合は■の範囲の内側にレイアウトしてください。

A4 サイズに縮小した場合に切れてしまうおそれがあります。

※■の範囲にはお問い合わせ先などの各種情報を掲載しますので、何も配置しないでください。



⑤配置する画像の解像度について

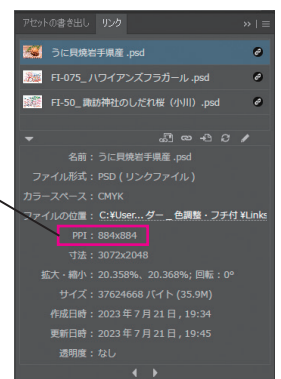
B2 サイズのデータに配置した場合の実サイズの解像度が 200ppi 以上になる画像を配置してください。

※200ppi 以下の画像の場合、十分な品質で印刷できないおそれがあります。

※小さい文字、細い線、細かい模様等を画像で使用する場合は、300ppi 以上を推奨いたします。

※小さい画像を拡大して使用した場合、解像度 200ppi 以上を満たしていても十分な品質で印刷できないおそれがあります。

イラストレーター上でも、リンクパレットから確認できます。



⑥使用する画像の保存形式について

PSD、TIFF、EPS のいずれかで保存してください。

※複数の画像を組み合わせると一つの画像にする場合は、可能な限りレイヤー構造を生かした状態の PSD 形式で保存してください。

⑦完成イメージの確認について

作成していただいたデータは、最小で A4 サイズに縮小して印刷する予定です。

縮小した場合でも、文字や図表が読めるか、画像が判別できるかを確認してください。

データ送付時の注意点

①送付していただくファイルについて

- AI ファイル 2 点（詳細は②をご覧ください）
- 画像ファイル（AI ファイルに配置してある画像のみ）
- 全体のイメージが確認できる見本画像または PDF ファイル

②AI ファイルについて

- 未アウトライン、アウトライン済の 2 種のデータをご用意ください。
- 使用している Illustrator のバージョンで保存してください。
- カラーモードが CMYK になっているか確認してください。
- 全てのオブジェクトのロックを解除してください。
- 非表示オブジェクトは全て削除してください。
- アートボード外にある不要なオブジェクトは全て削除してください。

③画像ファイルについて

- カラーモードが CMYK になっているか確認してください。
- レイヤー構造がある場合は生かしたままにしてください。